

# 江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会  
■編集・議会広報特別委員会  
〒043-8560  
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地1  
☎[0139]52-6713(直通)



## 春です!元気いっぱい!

かもめ保育園の子どもたちはみんな元気いっぱい。天気が悪くて、外遊びが出来なくても、中で走り回っていました。

4月になり、一つ上の組に進級し、新しいお友達や小さい子も入ってきたりと環境が変わる中でも、子どもたちは元気です!

## 平成29年 3月議会

## 29年度一般会計予算55億円 慎重に審議し、全会一致で可決!

—もくじ—

- ◇新年度予算の概要・・・・・・・・・・・・・2～5P
- ◇予算質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～7P
- ◇3月定例会こんなことが決まりました・・・8～9P
- ◇行政報告、意見書・・・・・・・・・・・・・・・・10P
- ◇一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11～16P
- ◇委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17P
- ◇第1回臨時会・第2回臨時会・・・・・・・・・・18P
- ◇全員協議会、出欠状況・・・・・・・・・・・・・19P
- ◇管内議員研修会、議会の動き・・・・・・・・・・20P

平成29年3月定例会が3月8日から10日まで行われ、平成29年度各会計予算、各種条例改正、補正予算など、提案された案件を審議し、原案どおり可決しました。

また、6人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



# して暮らせる地域づくりを

## 町政執行方針

平成29年度は、マチの将来に向けた道筋をつける重要な年と位置付け、この厳しい現状を乗り越え、次代を担う若者や子どもたちにしっかりと大切なふるさとを引き継ぐため、「古くて新しい町江差」の前進と進化に向けて歩みを進めていきます。



執行方針を表明する  
照井町長

### 主要施策

- ・戦略的なまちづくりの推進
- ・経済基盤を持続させる地場産業の振興
- ・交流人口の拡大による地域の活性化
- ・住民が元気に安心して暮らせるまちづくり
- ・地域を支える社会基盤の整備
- ・住民のための行政運営

## 平成29年度一般会計は **対前年比で7.3%増**

平成29年3月定例会を、3月8日開会し、平成29年度予算を中心に、条例改正や補正予算など、提出された議案を慎重に審議しました。全て原案通り可決し、会期を3日残して、10日に閉会しました。

予算の大半を占める平成29年度一般会計予算は、55億948万円と昨年度に比べ7.3%の増となりました。

歳入は、町税総額で374万円、0.5%の減少、地方交付税は1,551万円、0.7%の減少と厳しい財政運営となり、財政調整基金（積立金）2億5,800万円の取り崩しにより不足分が賅われます。

一方、歳出は、町道や公営住宅などの生活基盤整備事業や、観光振興地域DMO事業等の地域づくり事業などが予算化され、議員から進め方や今後の見通しなどについて質疑が行われました。（29年度主要事業は4・5ページ、予算質疑は6・7ページをご覧ください）



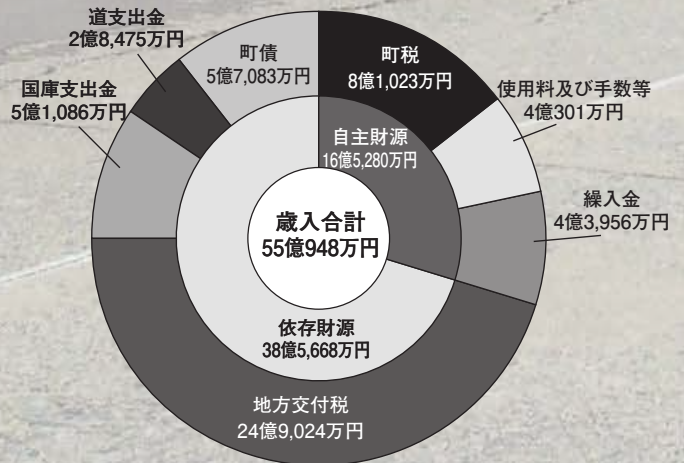
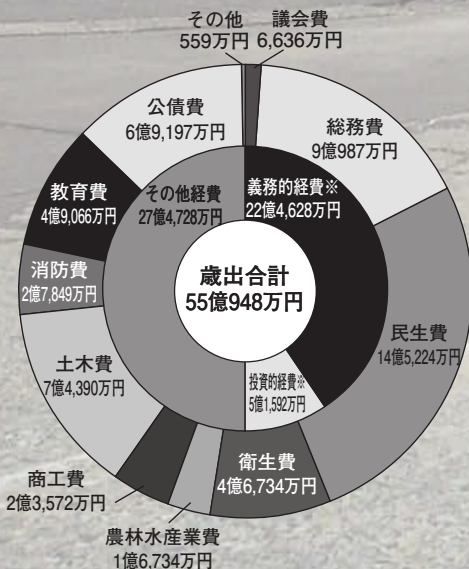
29年度予算成立

# 地方創生の推進・ 町民が安全で安心



## 平成29年度一般会計予算の割合

※義務的経費とは、支出が法令等で義務付けられ任意に縮減できない経費。人件費、公債費、扶助費等。  
※投資的経費とは、その経費の支出が短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられるもので、普通建設事業等をいう。



# クローズアップ 平成29年度事業

## 社会福祉協議会補助 (福祉活動専門員配置) 468万円

社会福祉協議会が採用する「福祉活動専門員（1名）」への助成。  
福祉活動専門員は、地域の実態や福祉ニーズの把握、地域支援コーディネート機能の充実等を通じて地域福祉活動の拠点としての機能強化を図る。

## 青果卸売市場経営 基盤強化対策 200万円



経営基盤の強化と青果物の安定的な供給体制整備を図るため、事業に対し支援し経営の安定を図る。

## 旧JR江差線 資料展示室整備 227万円



旧JR江差駅前の商店跡を活用し、旧JR江差線の資料等を展示。

## 防災ハザードマップ等 作成 389万円

津波ハザードマップを作成し地域住民に周知。地理情報システムデータ整備を委託し、多様な資料作成が可能に。

## 重点ため池ハザードマップ 整備事業 600万円

臈川地区2箇所のため池の決壊を想定したハザードマップを作成し地域住民に周知。

## “古くて新しいまち江差” 観光振興（地域DMO） 事業 2374万円



DMO強化の中心です。

推進体制の整備、地域商社設立に向けた調査検討・観光マネジメントシステムの構築等。

## 田沢テレビ共同受信 施設改修 420万円



田沢地区の老朽施設更新（光化改修）に併せ幹線工事等を実施。

## 農地流動化促進補助 280万円



水堀地区の農地

農用地利用集積計画に基づき農地集積を行った農業者に補助金を交付。



# これから1年間このような 事業が進められます！

## (仮称)新陣屋団地

- ・ 建設工事  
1億6639万円
- ・ 団地内道路新設工事  
7300万円
- ・ 給水管布設工事負担金  
1566万円



旧JR江差駅跡地に建設される公営住宅にかかる事業費。

## 柏町旧教職員住宅 解体工事 632万円



昭和46・47年に建築された柏町の旧教職員住宅2棟を解体。

## 南が丘第1団地 シロアリ駆除 333万円



毒工サの設置による巣の全体駆除。

## 道路改良工事

- ・ 南ヶ丘22号通り
  - ・ 砂川4号通り
- 7210万円



(上) 南ヶ丘22号  
通り予定箇所

(下) 砂川4号  
通り予定箇所

地域間交流の促進や通学路の確保、災害時の避難道路として整備。

## 江差北中学校体育館 屋根・外壁調査 261万円



屋根・外壁の劣化により、雨漏りや壁面崩落の危険性があるため、改修に向けた原因究明調査。

## 豊部内川転落防護柵 布設替工事 800万円



豊部内川上流に設置されている防護柵が、経年劣化により腐食。延長200メートル。

## 文化会館消防側塔屋改修 1743万円



昨年の強風で、アルミのスパンドリルが飛び、全てのアルミを取り外して改修する。

## ひのき荘



Q：現在のひのき荘の設備面は大丈夫なのか。新しい民間に移行する計画は順調か。

A：ボイラーは法定検査等が必要になっており不具合があれば都度修繕している。施設自体がかなり老朽化しているが、入所されている方に不具合の無いよう修繕している。

北海道と老人福祉整備計画の提出に関する事項について協議・調整している。移管先法人の雄心会と協議を進めながら、全体的なスケジュールの素案を作っていく。

## 財政運営

Q：基金を使いながら、借金を増やさない考えは非常に大事で評価したい。

A：総合戦略の推進期間は少しアクセルを踏んでいかなければならない。借金を増やさないよう気を配りながら財政運営をしていきたい。

## 空き家対策

Q：他の自治体では、空き家解消の対策計画や空き家バンク等やっているが、江差町の空き家対策はどうなっているか。

A：昨年度調査を実施し、429件が空き家となっている。まずは全所有者に通知し、認識してもらおう。特定空き家（周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家のこと）は、条例通りの指導勧告等をしていく。関係課連携しながら、特定空き家の認定作業をしていきたい。

# 意見！慎重に審議しました！

本会議上での予算案への質疑について、その一部を要約しご紹介します。



## 宿泊施設

Q：宿泊施設について、インバウンド等の対策をしているが、意外と江差は知られていない。外に発信する事業の取り組みや積極的な誘致をすべきでは。

A：観光は外貨を稼ぐもので、宿泊して頂くのが何よりも重要な要素。宿泊施設の誘致として交付金や固定資産税の免除等のメニューをしっかりとPRしていきたい。

全力で誘致についてアプローチしながら、ひとつずつ江差の観光の課題を解決していきたい。

## 学校図書

Q：小中学校の図書の蔵書率が、目標より低いと聞いているが、達成率や学校からの要望等はどうなっているか。

A：小学校は6千冊、中学校では6千5百冊から9千冊が標準。小学校は55%、中学校では50%の達成率となっている。各学校には、図書整備費の予算付けをし、年々増額してきている。蔵書の足りない部分は、図書館から貸出を受けるなど、連携して対応している。



南が丘小学校図書室

江差小学校図書室



## 地域おこし協力隊

Q：地域おこし協力隊について、地域イベントへの参加が主になっている。本来の企画業務等が出来ているのか。

A：イベントの当日対応等は当然あるが、極力自分たちで稼ぐことを3年間で身につけて欲しいと思っている。

江差町

### 地域おこし協力隊通信



そば作り体験に参加

かりんとう作り体験



地域おこし協力隊  
Face book「QRコード」

第11回目は観光振興業務担当  
今谷 好志 隊員です。

江差町地域おこし協力隊観光振興業務担当の今谷です。早いもので、江差町に来て半年がたちました。今回は、江差のしんそばも使われている。そばについてご紹介したいと思っています。みなさん江差町でそば栽培されているのはご存知でしょうか。現在、水郷地区や蔵川地区の一部で栽培されており、江差町産のそば粉を使っています。そんな江差町産のそば粉を使っています。そば打ち体験教室が一足先で開かれました。2月18日に旧朝日小学校で参加されました。町内より多数の方が参加されました。そば打ちの先生が多数おられ、ほぼマンツーマンで打ち体験ができました。私もそば打ち体験でしたが、貴重な体験をさせていただきました。開催された旧朝日小学校では農家の方が中心となった「えさし水土里の家」が活動されており、江差町産の農作物を使った、かたごもちやかりんとう、味噌などいろいろな手作り商品が作られています。自分も製造作業に参加させていただきましたが、ひとつひとつ手作りで作られているため、1日かけても少量しか製造できず、貴重な品になっています。私もお手伝いした、かりんとうは、現在、ぷららと江差で販売中です。売り切れの際はご容赦ください。

毎月広報に掲載している地域おこし協力隊通信

## ぷららと江差



Q：ぷららと江差とがんばる商店街について、結構な額の補助金が出ている。ぷららと江差の運営母体は。

A：ぷららと江差の補助は、今年から冬季営業を開始しており、その赤字補てん分が増えてきている。

がんばる商店街の補助は、買い物バスの終了に伴う代替事業の補助分。

ぷららと江差は、約30店舗の団体に構成されており、その中から代表を決め経営している。経理を含め、商工会がその事務を担っている。

## 予算質疑



# 平成29年度事業について

限られた財源の中で、どのように財政運営が行われているか。

## 商品券

Q：住宅リフォームプレミアム商品券について、一度使った人がもう一度使いたい場合もあるのでは。どのような募集をするのか、変更点があるのか。

A：問い合わせは多いと聞いているが、条件の緩和は、今後の申請の状況をみながら、商工会または内部で検討し、慎重に対応していきたい。



## 北の江の島構想

Q：北の江の島構想について、色々計画があるが、かもめ島の階段が急であり、その機械的な対策を考えているのか。かもめ島は町民の財産。手を加えず自然に残すべきでは。

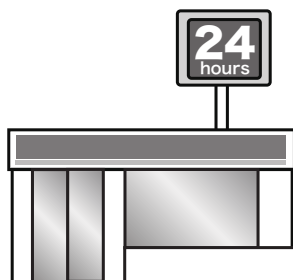
A：かもめ島のアシスト機能については、まちづくり懇話会でも意見が出された。可能なことがあるのか、少し時間をかけていきたい。

何らかの形で自然環境を守りながら、島の上にも人が上がって行けるような環境を作っていきたい。



新年度

# 町税がコンビニで納付可能に



平成 29 年 4 月から、コンビニエンスストアでも町税を納付できるようになりました。今後は、時間を気にせず、納めやすくなります。

また、これまで督促状が發送されると督促手数料を納めなければいけませんでした。コンビニ収納の開始に伴い、廃止されました。



(上) 町民野球場は毎週のように高校生や中学生、時には合宿にきた大学生が練習している。  
(右) サンドラウンドでは少年野球の練習や試合が毎週行われている。

新年度

# 野球場に広告を

町内の企業・商店・団体等から野球場フェンスへの広告を募集。この広告収入は、町内でのスポーツ活動を地域の皆さんで応援することを目的とし、スポーツ少年団の活動費やスポーツ振興事業へ活用します。  
募集区画は 20 区画で、広告料は年間 2 万 4 千円。

新年度

# 消防団ポンプ車を更新

江差町消防団第 5 分団（大潤町・泊町・尾山町・田沢町・伏木戸町）と第 2 分団（新栄町・愛宕町・豊川町・中歌町・桧岱・東山）のポンプ車を更新。

・ 5 分団ポンプ車 3178 万円

従前のポンプ車は昭和 59 年 11 月に整備され老朽化が著しいため更新。

・ 2 分団小型ポンプ積載車 1550 万円

従前のポンプ車は昭和 60 年 10 月に整備され老朽化が著しい。今回、小型ポンプ積載車に更新。



現在の（左）2分団ポンプ車と（右）5分団ポンプ車。



# 8月1日から江差町・上ノ国町

新年度

# 学校給食組合に変更

江差町ほか 2 町学校給食組合から、厚沢部町が脱退することに伴い、名称を「江差町・上ノ国町学校給食組合」に 8 月 1 日から変更となります。

こんなことが決まりました！



## 南が丘第1団地

## 長寿命化改修工事を実施

当初29年度予算の交付金事業で実施する予定でしたが、道の交付金の前倒しにより、28年度事業として補正。

4棟16戸の屋根、外壁の改修を行います。

補正額は3572万8千円（国庫支出金他）で、29年度に繰り越して事業を実施します。



南が丘第1団地

## 28年度補正

## 一般会計 10 事業を減額補正

平成28年度一般会計補正予算で、次の10事業について減額補正を行いました。

- ・職員人件費 ▲1712万4千円
- ・未利用町有地等売却促進対策 ▲534万2千円
- ・臨時福祉給付金給付事業 ▲132万円
- ・常設保育所運営 ▲313万円
- ・母子保健（定期予防接種） ▲155万円
- ・インフルエンザ予防接種支援 ▲48万円
- ・高齢者肺炎球菌予防接種支援 ▲46万5千円
- ・各種がん検診推進 ▲260万円
- ・水産物供給基盤機能保全事業 ▲51万3千円
- ・プレミアム住宅リフォーム商品券発行事業補助 ▲56万円



## 28年度補正

## 最終補正で総額 53 億 5147 万円

今回の補正は、主に各事業の確定と実績見込みによる予算の最終調整で、一般会計は、歳入歳出それぞれ2133万円増額し、総額で53億5147万円になりました。

《3月補正の結果》

会計名	補正後の予算額（補正額）
・一般会計	53億5147万円（2133万円増）
・国民健康保険特別会計	11億3839万円（2354万円増）
・介護保険特別会計	10億3507万円（820万円増）



# 六議員が町政を問う 一般質問

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

## ◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

## ◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

第1回定例会

## 行政報告

定例会で次のとおり、町長が行政報告しました。



### ◆給食費返還の執行状況について

不正経理事故に伴う給食費返還事務について、返還対象の96.7%執行済み。29年度も引き続き返還事務を継続する。

### ◆農業担い手育成協議会の解散について

平成16年に設立された協議会が平成28年12月31日をもって解散した。

### ◆平成29年4月からの道立江差病院の診療体制について

平成29年4月から消化器医師が1名体制に。今後も道と連携し、医師確保に努める。

### ◆ニシンの群来について

2月26日にかもめ島付近の海岸で海面の白濁があり、群来と確認された。昨年度から100万尾放流を実施しており、今年度も引き続き放流の取り組みをしていく。

### ◆町営レストランについて

開業予定日は4月15日頃で、名称は新しい名称で開業を迎えたいとの希望。出来る限りの開業に向けた情報の共有や支援を行い、観光客や地元の皆様に喜ばれる食の拠点になるよう協議連携していく。

### ◆寄付採納について

- ・第一生命労働組合函館営業職支部執行委員長 内藤要一様から日明保育園と子育て支援センターを利用する親子に対し絵本セット
- ・(株)五勝手屋本舗代表取締役 小笠原隆様から図書館の図書充実のために現金10万円
- ・A S A 江差朝日新聞専売所所長 松崎浩様から図書館の図書充実のために図書21冊
- ・(株)寺子屋代表取締役 森内あや子様からかもめ島周辺の活性化のために現金100万円

## 意見書を提出

3月定例会では5件の意見書を提出、全て原案どおり可決し、関係行政機関へ提出しました。

- ◆指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書
- ◆過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める意見書
- ◆無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備促進を求める意見書
- ◆テロ等組織犯罪準備罪 (共謀罪) 創設に反対する意見書
- ◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書



「高規格幹線道路」「函館・江差自動車道」の木古内く江差間の早期着工要請と町民運動の展開について

室井 正行 議員（自民党）

町長は、現在、整備協議会の会長を務めているが、協議内容等について議会や町民に認識されていない実態。

木古内・江差間の計画決定に至る今が、非常に重要な時期であり、江差町が不利益にならず、近隣町が賛同しやすいその方向性を明確にし、議会と共に協議を進めるべきと考えるが、町長の所見は。



木古内線整備促進期成会総会のようす。沿線自治体の町長・議長等が構成員になっている。

開始を平成31年度に予定しているが、木古内・江差間は、事業化区間となっていない状況にあり、当該区間の整備促進について、関係機関へ要請活動を行ってきた。

早期着工要請と、町民運動の展開については、現在の計画区間から事業化区間への昇格と、江差町側からの工事着手について強力に要請したい。

ルートの在り方等に關する町民を巻き込んだ運動の展開については、この次の段階で取り進めたい。

近隣町や他の団体との連携はもとより、議会や町民の皆さんと歩調を合わせ官民一体となった地域の声を伝える努力を行っていききたい。

再 自動車道の利用率向上を考慮し、北部地域に1カ所、南部地域に1カ所のインターチェンジの設置について、要請行動をすべき。

木古内く江差町長 まずは、

事業化への要請を取り進めていきたい。

インターチェンジは、概略ルート下の設計の段階で色々と議論がある。今年、都市計画のマスタープランが策定されるため、整合性を図りながら考えていきたい。

再 江差町のために必要な要請行動をすべき。

町長 色々なチャンネルを使いながら、この区間が非常に大事な区間だということをしつかりと、ストック効果、その道路が出来ることによつて、どのようにこの地域に経済効果を及ぼすかということをしつかり伝え、費用対効果でもここは必要な区間だということを理解して頂きながら、色々な所に要請活動を行っていききたい。

私が、会長を務める協議会も、もつと多くの民間の皆さんに入つて頂くよう、近隣町にも声をかけ拡大しようと今働きかけをしている。官民一体となった取り組みをして、そして中央へもしっかりと私がリーダーシップを発揮し、先頭に立つてやっていきたい。

「国道228号線 田沢く伏木戸間の道路整備、改良事業の着工要請について」

毎年車同士の衝突や路肩転落事故等が発生している。

道路の勾配、凍結、急カーブ、強風等の影響が大きいと思われるが、事故を未然に防ぐ対策と協議を函館開発建設部江差道路事務所と十分協議、相談すべきでは。

町長 田沢町から伏木戸町の間は登坂車線について、路線の線形や勾配等の問題もあり、特に冬期間は路面の凍結や強風等により、危険な状況にあることが散見される。交通事故未然防止対策として、早い機会に函館開発建設部江差道路事務所と協議を行いたい。

再 早期対応を考えることは、政策能力が試されていると判断する。庁内での議論を進めてもらいたい。

木古内く江差町長 まずは、田沢・伏木戸間は交通事故の未然防止対策としてどのような方策があるか建設水道課と協議し、江差道路事務所と相

談したい。

再 担当課長だけでなく、町の将来を考え、しっかりと課長同士頑張ってもらいたいと思うが。

副町長 交通安全の未然防止対策で、風の問題、勾配の部分でのアイスパーンになる等、当面の対策がどのようにできるのか、道路事務所とま

ずやっていきたい。ただし、高規格幹線道路は、津波のハザードマップも出て、減災・防災の観点も軸として追加しながらの要請になると思つており、全力を挙げていきたい。



冬期間、事故が多発していた田沢・伏木戸間登坂車線。

「戦略的なまちづくりについて」

塚本 眞 議員（無党派）

北の江の島構想について、開陽丸エリアの計画の具体的な内容は、

旧江光ビルの跡地の今後のスケジュールは、

シビックプライド（都市に抱く誇りや愛着のこゝとの醸成とあるが、住民参加の仕組みは、

町長 具体的な内容は、議論を深めるため、現段階では踏み込んだ説明が出来ない。

旧江光ビル跡地のスケジュールは、町全体のゾーニングの見極めや、上町街区の賑わいの創出に向けた必要な空間の利活用について、本年度議論を深めたいと考えている。

シビックプライドは、様々な活動を通じて、生きがいと地域への誇りを



開陽丸改修工事によって整備されたテラス

醸成し、町民と行政が一体となった町づくりを目指したい。これらの考え方を所管課へ浸透させ、様々な場面を通じて、町民へ周知したい。

町長 開陽丸エリアは気軽に立ち寄れる空間を目指すべき。

旧江光ビル跡地は、イベント広場的な空間で町民が活用しやすい交流の場や駐車場を検討しては、

シビックプライドは、町民が参加できるような体制を構築し、住んで良かったと思えるまちづくりを持ってほしい。

町長 開陽丸エリアは観光の拠点として開発していくため、皆さんと議論し良い物を作り上げたい。

旧江光ビル跡地は、まだ議論が煮詰まっていない段階。様々な観点で議論を深め、皆さんが納得できるものを何とか作り上げていきたい。

シビックプライドは、役場の管理職含め全員が認識することからスタートし、それを外に発信していくことを体制的に整えていきたい。

経済基盤を持続させる 地場産業の振興について」

アスパラガスの伏込栽培

培に取り組むプロセス、どのような実証試験を計画しているのか。

ナマコ以外の養殖、放流事業に取り組む必要があるのでは。

町長 伏込栽培は主に中小規模農家の冬期間における資金及び所得向上対策をねらいとし、苗を植える前の肥料まきや土の酸性度を整える作業、

養成株を植えたり掘り取る作業等の体験を検討している。新年度は、事業化段階で想定される内容をいかに実証試験事業で取り入れられるかについて、先進農家や関係機関と協議し、制度設計したい。

平成29年度は、試験段階にある大型海藻、昆布やわかめ、ホヤについて養殖事業化の取り組みを進め、エゾキンチャク貝の種苗生産技術の確立と養殖試験の実施に向け、関係機関の助言を得ながら検討を進めたい。

町長 アスパラだけに特化せず、他の作物や栽培法について広く検討すべき。

町長 回遊性魚種の不振は、日本海での外国船の密漁も要因。海上保安のパトロール強化等要請していくべきでは。

産業振興課長

アスパラをメインとして取り組みをしていきたい。農業者から別の作物の希望が出れば検討し、前向きに取り組みたい。

漁業については、国、道への要請を含め、関係

機関と協議し対応していきたい。

町長 認識不足があり、しっかり現状を把握した上で、必要があれば要請行動等に移したい。



アスパラガス栽培の様子

「住民が安心して暮らせるまちづくり（子育て支援の充実）について」

道では平成29年度から第2子以降の保育料無料化の導入を計画している。江差町でも、道の軽減策に加え、第1子からの無料化を検討すべきでないか。

町長 第1子からの無料化は、子育て世帯への大きな支援になると認識しているが、一方で、財源の大幅な負担が伴うことや入園児の増加が想定され、保育士の増員配置が必要となることから、今後の検討課題とした。

町長 保育士の確保や対応、待遇はどうなっているか。

町長 保育士の確保や対応、待遇はどうなっているか。町民福祉課長 何とかやりくりしながら、必要とする保育士を確保している。ハローワークや人の繋がり等で有資格者の確保を取り進めている。



「水産振興について」

萩原 徹 議員（無会派）

ナマコ以外の魚種等について、成果が上がっているものは何か。今後の見通し、新たな商材となるものは何か。

前浜振興に即効性のある取り組みを行うべきと考えるが。

ふるさと納税を含め安定的に前浜の資源を活用できる施設があれば、漁業者の収入の安定化に繋がり、観光にも役立つ。中間施設の整備をどう考えているか。

**町長** 安定した漁業経営を目指し育てる漁業の推進に努めている。ニシンの放流事業、昆布やわかめ、ホヤの養殖事業化、エゾキンチャク貝の種苗生産技術の確立と養殖試



市場にほとんどの流通していない。味は濃厚だが、増殖の可能性を検討する。エゾキンチャク貝は、新たな特産品として試験を行い、新たな特産品となるか検討する。

験の実施等、取り組みを進めている。

前浜振興は、即効性のある取り組みは難しい。漁業者の負担軽減を図るため、漁具購入支援等を実施、継続していく。

複合的な機能を持った施設の必要性は認識しているが、関係機関の助言・協力を得ながら、採算性のある持続可能な施設の在り方を検討していく。

**再** 水産施設は漁業者にとっても、町にとっても必要。冷凍機器の導入等、何か考えはあるのか。

**産業振興課長** 具体的に施設で考えているものはないが、江差の物を江差で消費できる仕組み作りは今後検討していかなければならぬ重要な課題と認識している。

**再** マダラやサクラマスの高付加価値対策を行うとあるが、昨年のブリの神経メ等の結果は、神経メにすることでキロ単価が上がる傾向にあった。付加価値に繋がっているため、他の魚種にも取り入れ対応していきたい。

「役場組織機構について」

観光業務と追分の振興は別物。追分と観光を分けるべきでは。

役場内の業務は限られた職員数で行っている。適正な職員の配置を考えたのか。

**町長** 江差観光のPRや発信をする上で、真つ先に紹介するのが江差追分であり、体験観光のメ

現段階での民間移管スケジュールは、民間移管にあたって、現在いる職員の身分や待遇は、執行方針にある、時間の要する課題とは何か。

**町長** 移管スケジュールについて、現時点では、当初の整備方針に基づき、移管先法人の社会福祉法人雄心会が平成30年度に北海道に対して、老人福祉施設整備計画書を提出し、審査を受け、承認決定後の平成31年度にひのき荘を譲渡して運営を行うて頂き、同時に新たな施設の着工を行う形としていく。

具体的に移管整備スケジュールの策定に当たり、現在、雄心会並びに道と確認調整作業を行っ

「養護老人ホームについて」

ニューに追分教室等、観光の目玉となっている。観光と追分は密接な関係にあるため、分離する考えは持っていない。

現有職員数の維持を基本に、再任用制度の活用や地域おこし協力隊の配置も含め体制作りを構築しながら、各係の業務内容も検証しつつ、適正な

ており、多岐にわたる協議が必要。具体的なスケジュールは、改めて報告したい。

移管後の職員の身分や待遇は、現時点で具体的な内容は決まっていないが、民間への移管に際し、正職員は本人の意向を踏まえ、雄心会への再就職、または役場での配置転換が基本となる。雄心会への再就職となる職員の出遇は、待遇面において職員側の意向、職員労働組合との交渉、雄心会との協議を重ねた上で検討していきたい。

執行方針の時間を要する課題は、道の審査を受けるための老人福祉施設整備計画書作成協力や、町の高齢者福祉計画介護事業計画の見直し、譲渡

職員配置に努めたい。**再** 観光にたくさんの業務メニューがあるが、やはり一つの課でやっていく考えなのか。

**総務課長** 観光DMO等を見据えた増員を行っている。観光と追分は密接な関係があり、今は分離する考えはない。



新ひのき荘の建設が予定されている柳崎町の用地。道立江差病院に近く、周辺には大型店舗が点在している。

「コミュニティスクールについて」

小梅 洋子 議員（無党派）

コミュニティスクールとは、どんな学校か。準備や方法は。どのようなメリットが期待できるか。導入した事例等はあるか。

教育長

コミュニティスクールとは、学校運営協議会制度のことです。この協議会を設置している学校のことを言う。学校運営協議会は、学校運営や課題等に対し、保護者や地域住民が参画する仕組み。

また、地域の方がそれぞれの立場で子どもたちの豊かな成長を支え、地域と共にある学校づくりを進めることが一番の狙い。制度導入のため、教職員、保護者、地域住民へ理解を図ること、学校の指定、委員の任命、学校運営協議会規則等の制定等がある。

導入のメリットは、教職員の異動があっても、地域との組織的な連携、協働体制が継続できる持続可能な仕組み。子どもたちがどのような課題を抱えているか、何を實現していくのかという目標ビジョンを共有出来ること等。

導入成果の事例は、学

校と地域が情報を共有するようになった、地域が学校に協力的になった、学校に対する保護者や地域の理解が深まった等、教職員の意識改革、学力向上においても成果が出ているという事例報告がある。

教育委員会では、今年度各学校の校長、学校評議員、PTA会長で組織するコミュニティスクール検討会議を設置し、検討した結果、先行的に江差北小中学校で1つの学校運営協議会を先行して導入すべきという検討結果が出されており、準備を進めていきたい。

再 教職員の負担は。

学校教育課長 最初に導入した頃は教職員の負担は少しある状況。2年3年経つと、負担感は薄れ、子どもと向き合う時間が増えてきた事例がある。

再 教育委員との繋がりは。

学校教育課長 教育委員会は学校運営協議会の中に入っていないが、学校運営協議会の委員が教育委員会に意見を言える形になっている。

「防災について」

災害対策本部としての機能充実は大切。

松ノ岱一帯を防災基地にしてはどうか。対策本部や備蓄品管理等、長期的な観点で整備計画等できないか。

町長

災害対策本部は、役場が津波被害で浸水し本部機能を果たせない場合、消防署との連携が必要な立地場所として、文化会館小ホールに移転することについて

「観光客受け入れについて」

宿泊施設が少ない。旅行者等を民泊させる場合の条件や規制があるのか。

町長 届出は必要か。

昨年4月1日に厚生労働省からイベント民泊ガイドラインが示された。イベント民泊とは、年1回、2日から3日程度のイベント開催時、宿泊施設の不足が見込まれることで、開催地の自治体の要請等により、自宅を提供するような公共性の高いものについて、旅館業法に該当しないものとして取り扱い、自宅提供者に旅館業法に基づく営業許可なく宿泊サービスを提供することを可能としている。

町として、江差追分全国大会を想定し、平成29年度、イベント民泊の活用に向けた調整を、関

る。本部移転訓練を実施し、災害対策本部の機能を短時間で充実させ、町民に不安を抱かせることのないよう対策を講じた。

現在の松ノ岱は、避難場所とヘリコプターの離発着場所として防災計画の中で位置付けられている。これに全ての機能を集中させることになれば、特にハードの整備が必要不可欠になる。現状

では、災害対策本部機能や防災備蓄センターの活用を基盤に、最大限の機能を発揮できる体制を図りながら、将来的な防災体制の在り方を検討していきたい。



旧生涯学習センターは建物がそのまま残されている。旧松ノ岱グラウンドも、ほとんど利活用されないまま現在に至っている。



町会所のトイレ。土足厳禁のため、利便性が悪い。

再 町会所のトイレは土足で使えないのか。使えないとすれば腰かけや手すりの設置は。

建設水道課長 町会所のトイレ前のホールが床暖房になっており、土足での使用となると改修工事が必要になる。手すりや腰かけは、現地を確認し、できるものから取り



「子ども・子育て支援事業について」

小林くにこ 議員（日本共産党）

町では、子ども子育て会議を設置し、支援事業計画を策定し、年度毎の点検評価を行うとしている。平成29年度までの子ども子育て会議での評価、今後の課題は。

町では、病後、治療後も体調に不安の残る児童の保育事業は行っていない。安全安心して子どもを預けられる環境の整備が必要では。

**町長** 計画は、平成27年度から31年度を期間とし、町民ニーズや江差町子ども子育て会議での議論を踏まえ策定した。事務局会議を開催し、個別の状況を把握する事務を3月中旬に取りまとめることで進めている。その後、3月下旬に子ども子育て会議を開催し、計画の進捗状況や課題等を整理、遅れ気味の進捗状況にある。

通常保育園では、他の園児への感染の心配がないと判断された場合に保育園での受け入れを行っている。病児、病後児保育事業は、専任の保育士と看護師の配置を要し、専門スペースを確保する

「公共施設等総合管理計画について」

計画によると、公園の

点検実施、予防保全型の維持管理、安全配慮の視点から撤去、修繕、更新等の方針を定める、としている。今後の修繕等の方針をいつ定めるのか。

**再** 計画全体の成果を点検評価することが重要と明記されているが、どう点検評価するのか。上位計画への反映もあり、しっかり議論すべき。

**町民福祉課長** 現在、全てが指標を用いた計画となっていない。指標のもの、ニーズのものという形になっている。現在、その事務を進めている段階にあり、ものによって指標であったり、その検討課題がどこまで進んでいるのか等の内容となっている。



子ども子育て会議で委嘱状が町長から手渡された。委員は、幼稚園や保育園等の保護者代表等。

程度で行い、その後公園全体として遊具等の設置や更新を検討し、方針を定めていきたい。

松ノ岱公園は、都市公園として、都市機能の一部を担い、町民の憩いの場として利用されている。周りが緑に囲まれ、静かで町の喧騒から離れることが出来、時にはリス等の小動物を見かけることもあり、自然豊かな公園として親しまれている。安心かつ快適に利用して頂くため、管理人を配置し、維持管理に努めており、安全性や利便性の点において、早急に整備しなければならぬ課題はないと認識している。

子育て福祉関連施設に関する方針では、園児数の減少に伴う統廃合を検討し、多機能を加えた複合化も視野に入れながら検討、となっているが、どこの保育園の統合なのか。多機能を加えた複合化とは。

**町長** 利用者の安全性を確保するため、老朽化が著しいもの等は撤去を進め、使用出来るものは補修を進めている。

一両年においては、12箇所、ブランコやシーソー、ベンチ等の撤去、補修の他、逆川森林公園の炊事台と丸太椅子の全面補修等を実施した。

方針については、遊具等の撤去や補修等は3年

松ノ岱公園は、繁華街の近くで自然を身近に感じられる公園になっている。しかし、熊が出没する等安全面に課題も。



統合の検討対象とする保育所は、日明保育園と水堀保育園の2か所を考えている。複合化については、現在、日明保育園で実施している子育て支援センターと、江差北小学校校下で行われている学童保育所の機能を想定しているが、いずれも園児数の推移、地域や父母等の理解、財源対策等も含め、施設の在り方を総合的に検討した上で、方針を立てていきたい。

**再** 公園整備は早めの実施すべき。また、既存の保育園を統廃合し、病児保育事業スペースも付設した認定子ども園への移行の検討はしているのか。

**町民福祉課長** 病児・病後に関しては、保育士や看護師の配置を常時行う必要がある、現時点では、その検討は行っていない。

**財政課長** 整備は3年程度で考えている。利用者がケガをしないよう最優先に、その後公園全体としての整備について検討していきたい。

## 「高齢者の福祉施策について」

小野寺 真 議員（日本共産党）

高齢者の生活を支援する公的制度の改善・充実を着実に進めていくことが、急がれるのでは。

配食サービスについて、どのように新年度事業展開するのか。

各事業を統一した見やすいパンフレットを作り、配布・周知すべきでは。

**町長** 現在サービスを利用している方や新たに利用する方がスムーズに利用できるよう、多様な機会を活用し、制度周知に努め、サービス内容は随時評価をし、実施していきたい。

配食サービスについて、平成29年度からは介護保険の地域支援事業の任意事業の地域自立生活支援事業で実施する。当面は、現行サービスを引き続き形で考えている。

各種の統一したパンフレットは作成していないが、必要性は認識している。各課連携し、サービス内容の周知に努め、パンフレットの作成についても取り組みたい。

**再** 社会福祉協議会の

福祉活動専門員の位置付けに、ボランティアセンターを考えているのか。社協とやり取りしているのか。また、社協の地域福祉推進員と共に地域福祉計画を担っていくのか。認知症等の方の金銭管理はどうか。

配食サービスは昼だけか。夜も可能なのか。

パンフレットの作成の他に、丁寧な説明も必要と思うが。

**町民福祉課長** 専門員を配置することで、地域に求められているニーズに対応し改善していくことが基本。推進員と2人ではなく、組織として意識を変えた中で取り組んでいきたい。

日常生活自立支援事業は、現在道社会福祉協議会に委託しているものを今後は江差町の社会福祉協議会が、その事業を行うことを想定している。

職員がきちんとした説明をしないことよって町の方々に不利益を与えてしまうということは、あつてはならないこと。今後、研修をしていきたい。

社会福祉協議会に4月から配置された福祉活動専門員（中央）。地域の実態や福祉ニーズの把握、地域支援コーディネート機能の充実を通じて地域福祉活動の拠点としての機能強化を図る。



**健康推進課長** 配食

サービスは、現在、案を作成中であり、時間帯等の検討はまだしていない。

**再** 配食サービスはどれ位を想定しているのか。

地域福祉推進員が要望に応える仕事をしなければ補助金の意味が無いのでは。

**健康推進課長** 配食サービスの予算は7人で計算している。

**町民福祉課長** 新たな体制となった時点で、社協と協議・連携を密にし、出来なかつたこと等の精査をしていきたい。

## 「水産振興について」

道の日本海漁業振興策の継続について、どう働きかけているか。

資源保護について、日本海全体で取り組むべきでは。

水産物の地産地消を進めるべきでは。

**町長** 漁業振興を推進していくためには、北海道の支援が必要不可欠と考えている。関係町と連携し、日本海漁業振興対策の継続について、要望していきたい。

資源論からすると、資源量と漁獲量の因果関係は明確でなく、一方で

これ以上厳しい漁獲規制をかければ漁業経営が立ち行かなくなる恐れがある。回遊性魚種は行動範囲が広く、資源の維持増大は困難を極めるが、漁業関係者・試験研究機関・行政が一体となって資源の保護と利用について検討していきたい。

地産地消は、これまでも漁業士会や漁協女性部が中心となって食育活動の普及に努めている。町としても、更なる地元水産物の普及、消費の拡大が必要と考えており、関係機関と協議し、推進していきたい。

資源保護については、国際的な問題も含め、関係機関と十分協議し、必要な対応を取っていきたい。

**再** 資源保護については、働きかけが必要。徹底した資源管理をしなければ採り尽くしてしまうのでは。

**産業振興課長** 資源保護は国際的な問題も含め、関係機関と十分協議し、必要な対応を取ってきたい。

資源保護については、全てを禁漁にすればいいというのではなく、資源と漁業のバランスが取れた取り組みをしていかなければと考えている。



船上活メのブリ。鮮度が保てるため遠くへの出荷が可能になった。地元に出回ることも。



紅スワイガニとアワビはふるさと納税返礼品にも活用されている。



## ～常任委員会報告～

# よりよいまちづくりのために

## 総務産業常任委員会『農業振興対策に関する事務調査』

総務産業常任委員会（萩原 徹委員長）は、平成28年第3回定例会で事務調査をおこし、9回会議を開催し、担当課の説明を求めるとともに、農業委員と意見交換、また徳島県上勝町と神山町の視察調査を行い、調査をした結果について次のとおり意見を付して報告する。

江差町の農業の現状は、他の町内一次産業と同様に高齢化と担い手不足により、今後の基幹産業としての存続が危ぶまれている。

高収益作物のグリーンアスパラ等の導入や規模拡大による所得の向上を目指しているが、後継者が残れる所得の実現が出来ていない。

そこで、本委員会は、地域農業を守るべく、これからの農業の課題と対策について、事務調査を立ち上げた。

農業者をはじめ、関係機関との意見交換、過疎・中山間地等の条件不利地における農業振興の調査研修として、徳島県上勝町及び神山町の視察を行った。上勝町は、「つま物」の商品化に着目し、情報ネットワークシステムを構築、自ら市場分析やマーケティングを出来るまでになっている。また、神山町は、企業のサテライトオフィスの推進を図り、2年間でIT系ベンチャー企業が9社事務所を開設した。中山間地域における新しいタイプの商店街モデルとして、普及効果は商店街にまで広がっている。



（左） 檜山振興局の農業担当部署から、檜山の農業の現状等についてお話を伺った。



（右） 徳島県上勝町の「つま物」出荷等の現場を視察した。



（左） 町農業委員の皆さんと江差の農業の現状やこれからの農業について、率直な意見交換が行われた。

これらの調査検討結果を踏まえ、次のとおり意見を付して報告する。

### <意見>※抜粋

- 1) 従前の米への所得依存から、高収益作物が定着し、所得が向上している現状があるが、後継者が残ることができる水準にまで到達していないことから、既存の高収益作物の収量・品質向上に向けた土作りや技術向上をさらに推進するため、関係団体との連携を図ること。
- 2) 新たな高収益作物（市場調査等も含む）の研究や農閑期における新たな所得確保に向けた作付け等について検討すること。若手農業者の意向を十分把握し、試験研究に対する関係機関の支援が必要。
- 3) 農業者人口の減少が今後も予想されることから、個々の耕作面積が増えていくことは明らかである。これらを踏まえた大型農業への法人化等も含めた経営指導の充実やICTを活用したスマート農業（ドローンの活用等）について検討していくこと。
- 4) 収穫された農産物の磨き上げを行い、差別化商品として個人の農業者が独自に販売できる手法等（ICTの活用）について検討していくこと。既に、女性農業者が直売を行っている実績もあり、更に女性の視点でこれらの拡大を期待する（地場野菜等の地元供給も含める）。
- 5) 新規参入対策として、受入体制の整備を行い、農業版インターンシップの導入や受入時の審査体制について、関係機関と連携し、江差町独自の受入マニュアルを作り、第三者継承の検討にも取り組むこと。
- 6) 農業基盤の老朽化対策として、土地改良事業が考えられるが、若手農業者が少ない中で新たな負担行為（借金）に対する理解が進んでいない。受益者負担の少ない事業の採択と更なる負担軽減策を、江差町でも検討していくこと。

## 社会文教常任委員会

## 『地域福祉に関する事務調査』

社会文教常任委員会（室井正行委員長）は、平成28年第4回定例会で事務調査をおこし、現在、継続して調査を行っている。3月末には、先進地である岩手県雫石町を訪問し、社会福祉協議会の方々から直接現場の声を聞くことが出来た。今後も、調査を進め、報告は6月定例会を予定している。

# 第1回臨時会

## 2月24日 町営レストランの指定管理者を指定!



2月24日に第1回臨時会が行われ、一般会計の補正予算及び指定管理者の指定議案を審議し、原案どおり可決、閉会しました。内容は次のとおりです。

### 「一般会計補正予算」

#### ◆町営レストラン再開準備

745万3千円  
(全額一般財源)

休業している町営レストランの再開に向けた経費を補正。

#### ◆役場庁舎非常用発電機改修

207万4千円  
(全額一般財源)

機能低下、装置の取替経費。

◆平成27年度子ども・子育て支援交付金及び平成27年度臨時福祉給付金給付事業費補助金返還

72万6千円  
(全額一般財源)

実績による返還分。

#### ◆町内パークゴルフ場管理支援(パークゴルフ場備品購入)

70万円  
(全額一般財源)

柳崎町のパークゴルフ場の旧管理団体からの備品購入。

#### ◆北海道地域振興短期派遣負担金

62万1千円  
(全額その他特定財源)

道派遣職員分人件費負担金。  
◆高齢者等在宅生活支援(緊急通報システム装置購入)

43万4千円  
(全額一般財源)

一人暮らしの高齢者世帯等が増加し、設置希望者も増加。

#### ◆老人福祉センター裏玄関自動ドア修繕

30万1千円  
(全額一般財源)

裏玄関自動ドアの閉鎖装置、センサー等が故障し補修。

### 「その他」

#### ◆指定管理者の指定について

〔施設〕江差町営レストラン

〔指定団体〕有限会社 津花

〔指定期間〕平成29年4月～平成34年3月31日

### ◆議員質疑

Q 老人福祉センター玄関自動ドア修繕について、不具合はいつ把握したのか。

A 昨年12月末から不具合が生じた。

Q 緊急通報システムの配置状況、周知は。

A 全体で70件設置。28年度は13台。周知方法は、広報や自治会等からの情報提供、地域包括支援係との連携等で把握している。



江差追分パークゴルフ場(柳崎町)。多くの愛好者がパークゴルフを楽しんでいる。

# 第2回臨時会

## 4月14日 旧JR江差駅跡地汚染土壌処分 2,669万円を補正!



4月14日に第2回臨時会が行われ、一般会計の補正専決処分、補正予算及び税条例等の一部改正について審議し、原案どおり可決、閉会しました。内容は次のとおりです。

### 「一般会計補正専決処分」

#### ◆繰越明許費補正

・インバウンド対策推進

250万円

#### ◆町営レストラン再開準備

200万円

29年度に繰り越して事業を実施。

### 「一般会計補正予算」

#### ◆旧JR江差駅跡地汚染土壌処分

2668万7千円  
(全額その他特定財源)

表層における検査で基準値を超えている4か所について土壌の処分をする。深さ1mまで掘削し、運搬、処分をする。

土壌の処分は、土壌汚染対策法に基づく許可を受けた業者でなければできない。

#### ◆障害者福祉システム改修

19万5千円  
(国庫支出金他)

29年度、障害者福祉サービス等報酬改定が行われることになり、福祉・介護職員の処遇改善加算が拡充され、システムの改修を行う。

### 「条例改正」

#### ◆税条例の一部改正

##### ・「町民税」

「控除対象配偶者」を「同一生計配偶者」の変更等。

##### ・「固定資産税」

震災等により滅失した家屋等の特例期間の拡充や代替家屋等の特例措置の創設等。

##### ・「軽自動車税」

消費税引上げ時期延長に伴い、軽自動車税のグリーン化特例について基準を見直し2年延長。

#### ◆国民健康保険税条例の一部改正

低所得者に対する軽減の拡大策として、国民健康保険税の応益割の2割軽減及び5割軽減の対象を積算する際の単価をそれぞれ引き上げる。

### ◆議員質疑

Q JRの汚染土砂対策について、町営住宅建設は大丈夫なのか。汚染された原因は。

A 処理を行えば問題ないと確認している。原因は、蒸気機関車時代の車輪の部品に含まれる鉛が蓄積したのとは見ている。他の駅の跡地でも確認されている。



# 全員協議会を開催しました

2月24日に全員協議会が行われました。その内容についてお知らせします。



## ・江差ウインドパワー株式会社に関する当面の動向について

株主の斐田工務店から風車耐用年数終了後も引き続き、同場所において28基を撤去し、新たに10基程度の風車を整備し、斐田工務店単独で実施する意向である旨の申し入れがあった。

施設整備に向けた環境アセスメントには、約3か年程度を要するとのことであり、近々これらの準備等を進めるため、平成29年の早い時期から当該地区と周辺環境アセスメントを実施する予定であるとの報告を受けたと説明があった。

## ・北の江の島構想について

市街地活性化検討委員会で、ソフト・ハード両輪による整備項目を検討・協議した資料が議会へ提出された。今後、まちづくり懇話会等において、町民や各団体からの意見を頂き、議会と協議を重ね、平成29年度中に構想を策定し、行政・議会・町民・各団体と連携した中で推進していきたいと説明があった。

## ・町営レストランの指定管理について

有限会社 津花から応募があり、指定管理者候補者として適正である旨の報告があった。

## ・平成29年度一部事務組合の予算案について

檜山広域行政組合、南部桧山衛生処理組合、江差町ほか2町学校給食組合の平成29年度予算について、担当課から概要の説明があった。

## ・総務産業常任委員会視察報告について

農業振興対策に関する事務調査において、徳島県上勝町と神山町へ視察を行った。その内容について、議員へ資料提供と共に報告を行った。



町営レストラン

# 出欠状況をお知らせします！

平成29年1月1日から3月31日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会					議長
		萩原 徹(委)	塚本 眞(副)	小笠原 淳夫	飯田 隆一	小野寺 真	西海谷 望	室井正行(委)	小梅洋子(副)	薄木 晴午	若山 明廣	小林くにこ	
第1回臨時会	2月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会	3月8日~10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	1月16日	○	○	○	○	○	○	●(私用)	○	●(私用)	○	○	○
	1月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	1月16日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	1月24日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	2月7日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
	2月21日	○	○	○	○	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線
社会文教常任委員会	2月16日	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	○	○	○	○	斜線
	3月2日	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	○	○	○	○	斜線
議会広報特別委員会	1月16日	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	斜線	斜線	斜線	斜線
	1月24日	○	○	斜線	斜線	斜線	斜線	斜線	○	斜線	斜線	斜線	●(私用)
議会運営委員会	2月21日	○	斜線	○	斜線	○	斜線	斜線	斜線	○	○	斜線	斜線
	3月1日	○	斜線	●(私用)	斜線	○	斜線	斜線	斜線	○	○	斜線	斜線

○：出席 ▲：欠席（公用） ●：欠席（葬儀・病欠・私用）

## 議会の動き

- 1月24日 ◆総務産業常任委員会（出席6名）  
・農業振興対策に関する事務調査
- ◆広報特別委員会（出席4名、欠席1名）  
・2月号議会だよりについて（2回目）
- ◆檜山議長会議（厚沢部町）
- 2月7日 ◆総務産業常任委員会（出席6名）  
・農業振興対策に関する事務調査
- 2月8日 ◆管内議会議員研修会（上ノ国町）
- 2月16日 ◆社会文教常任委員会（出席5名）  
・地域福祉に関する事務調査
- 2月21日 ◆議会運営委員会（出席5名）  
・第1回臨時会の運営について
- ◆総務産業常任委員会（出席6名）  
・農業振興対策に関する事務調査
- 2月24日 ◆全員協議会（出席12名）  
・江差ウインドパワー株式会社に関する  
当面の動向について  
・北の江の島構想について  
・町営レストランの指定管理について  
・平成29年度一部事務組合の予算案について  
・総務産業常任委員会視察報告
- ◆第1回臨時会（出席12名）
- 3月1日 ◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）  
・第1回定例会の運営について
- 3月2日 ◆社会文教常任委員会（出席5名）  
・地域福祉に関する事務調査
- 3月8日~10日 ◆第4回定例会（出席12名）
- 3月27日 ◆檜山広域行政組合議会第1回定例会  
◆南部桧山衛生処理組合議会第1回定例会  
◆江差町ほか2町学校給食組合議会第1回定例会
- 3月28日~29日 ◆社会文教常任委員会視察研修（岩手県雫石町）（出席5名）
- 4月13日 ◆議会運営委員会（出席5名）  
・第2回臨時会の運営について
- ◆総務産業常任委員会（出席6名）  
・DMO推進に関する事務調査
- 4月14日 ◆第2回臨時会（出席11名、欠席1名）  
◆議会広報特別委員会（出席4名、欠席1名）  
・5月号議会だよりについて（1回目）
- 4月19日 ◆社会文教常任委員会現地視察  
（かあちゃん食堂）（出席5名）
- 4月20日 ◆社会文教常任委員会（出席4名、欠席1名）  
・地域福祉に関する事務調査

## 平成28年度檜山管内町村議会 議員研修会に出席しました！



檜山議長会が主催する平成28年度檜山管内町村議会議員研修会が、2月8日、上ノ国町総合福祉センターで開催されました。

檜山管内7町の議員が集まり、「価値を高め、人を呼び込め 本道、檜山の食と観光！」（講師：一般社団法人北海道貿易物産振興会副会長 立花謙二氏）と「北海道新幹線の経済効果と見えてきた課題」（日本銀行函館支店長 副島 豊氏）の講演が行われました。

## みんなの議会 傍聴しませんか

- ◆次の定例会は6月です。
  - ◆傍聴の際は、住所・氏名を記入して頂きますが、出入りは自由です。
  - ◆審議日程等はホームページでお知らせします。また、役場玄関自動ドア付近の掲示板でも議会日程等をお知らせしています。
- くわしくは、議会事務局（☎52-6713直通）まで お問い合わせください！



◇江差町議会のホームページでは、各会議の会議録や議会日程等を掲載していますので、ぜひご覧ください！

